



NO. 996

2014. 11. 23

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三-四四五八
F 四三三-四四五七



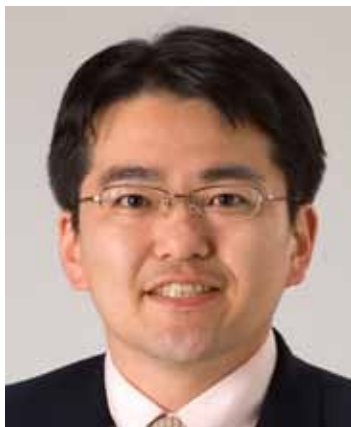
世論に追いつめられた 大義なき解散・総選挙

今回の解散・総選挙は、安倍暴走政治が国民の世論と運動によって追いつめられ「解散の時期を延ばせば延ばすほど支持率が下がる」からという党利党略によるものです。

比例代表候補

はたやま和也 (43歳)

党中央委員、北海道委員会書記長
(投票は政党名を書きます)



小選挙区12区候補

菅原 誠 (41歳)

党道委員、北見地区委員会副委員長長
(投票は候補者名を書きます)



しかし、国民の側にとっては、集団的自衛権容認で戦争する国にしたい、消費税を増税したい、年金・社会保障を切り下げたい、雇用のルールを破り大企業の好きなようにさせたい：等々の悪政を続ける安倍内閣を倒すチャンスとなる選挙です。

日本共産党は国民の暮らし、平和を守るために上記の候補者を決定しました。

比例代表のはたやま和也候補は前回僅差で惜敗しましたが、「今度こそ」と燃えています。

菅原まこと候補は、3回目の挑戦となりますが、政治家としての力量は試されずみです。

ぜひ、みなさんのお力で日本共産党の議員を国会に送り出して下さるよう心から訴えます。



いざ東奔西走

18日に解散表明した安倍首相の顔からは、自らの失政を認めて「政治と真剣に向き合う政治家」とは程遠い感じをうけました。

言い訳がましく増税不況の深刻化や「アベノミクス」の行き詰まりで来年10月からの消費税増税が困難になり、それを先送りし、衆議院の解散・総選挙で国民の信を問うとっています。あわせて女性閣僚を筆頭とする「政治とカネ」の不祥事をリセットする。おまけに2年半後には景気が良くとも悪くとも増税を行うというものです。とんでもない！直ちに退場するのが筋ではないか！！今こそ厳しい審判を！！

菊地ひろし

政府が進める「地方創生法」で本当に地方が活性化するのでしょうか。

そもそも網走のような地方がさびれ、若者を少なくさせたのはいったい誰なのか。それは歴代自民党政権が、財界・大企業の儲けのためにすすめた政治のためではないでしょうか。

この反省がない中で進める政策では、本当の地域活性化などできるはずがありません。

ましてや「アベノミクス」の経済政策では地域の中小企業は生きていきません。農業、福祉などを衰退させるだけです。安倍政権の悪政から、暮らしと地域を守り、安定した雇用と社会保障こそが人口減少に対する最大の歯止めではないでしょうか。

菅原 誠

12月議会に向けて色々と準備をしていた矢先に、突然、解散風が吹いてアツという間に解散になりました。

いま、一般質問を何にするか準備をしているところですが、加えて総選挙の準備と候補力への運行や乗員の確保など大変です。網走市議会は9日から18日まで議会の直前の日曜日が投・開票日となるので、質問の仕上げをどうするか頭が痛いです。とにかく総選挙で、はたやま和也さんの議席を勝ち取るために全力を挙げて頑張るしかありません。日本共産党への支持を広げて下さい。

流水

アナウンサーが「せいかつひ、せいかつひ」と繰り返して言うので消費増税に関連したニュースかと思ったらそれは「生活費」ではなく

「政活費(政務活動費)」のことだった▼もはや過去の話だが「年に195回日帰り出張し300万円支出」と報じられ記者会見で突然号泣し辞職した県議の一件以来大臣をはじめ要職にある議員も続々と当たり前のように不正に金が使われていたことが明らかになってきた。使われた金は私たちが「生活費」を切り詰めて支払った税金だよ！▼政活費は調査研究だけでなく、その他の活動に使っても良いとされ、「領収書を添付」としながら、無くても咎められないといういい加減さ。ではこの制度は無くすべきか？身近なところで考えてみよう▼福祉や税金、様々なトラブルなど切実な声と要求を受け止める誠実な議員は住民の命綱のような存在。この議員の調査や資料集めのための政活費は必要でしょう。問題は政府の言いなり、住民不在のオール与党議会、こんな議会では住民に背を向けて平気な議員が政活費を正直に使うだろうか▼あの号泣議員は「世の中を変えたい」と涙を流したが勿論逃げ口上。国民の中にある政治への無関心がためらめ議員を生み勝ち気ままにさせる。総選挙、地方選挙ではとことん目を凝らして本物の議員を選び、世の中を変えていきたい。(U)